

「地域とのつながり構築や 活性化にむけた宝珠の郷の取り組み」

社会福祉法人朝倉恵愛会
特別養護老人ホーム宝珠の郷
生活相談員 手島 久美子

1. 施設および施設所在地域の紹介

特別養護老人ホーム宝珠の郷のある福岡県朝倉郡東峰村は、福岡県の東の端に位置し大分県日田市と隣接している。村の総面積の約86%が山林原野で占められており、冬には早期に積雪を見ることが多くあり、夏でも朝夕は涼しい地域である。

平成22年の統計資料によると総人口2,432人に対して、65歳以上が923人(38.0%)、高齢者の一人暮らし111世帯、夫婦のみ126世帯と高齢者人口構成比は、増加傾向にある。

このような山間部において宝珠の郷は、平成12年に宝珠山村(当時)によって建設され、社会福祉法人朝倉恵愛会に運営を委託された。開

設当初は、介護事業委託として始まったが、平成17年に隣の小石原村との2村合併を機に、指定管理者制度となり現在2期目の指定を受けて運営を行っている。

2. 地域社会・住民の生活課題

山間地域においては、社会資源も限られることとなる。行政の住民福祉課、村の社会福祉協議会の他、診療所が2か所あるが、うち1か所は週1回午後だけの開院となっている。介護サービスは、社会福祉協議会が運営する訪問介護事業所、他の社会福祉法人が運営する通所介護、短期入所、特養があるが、当施設を含めても十分なサービス数とは言えないのが状況であ



外 観

る。このように介護サービスが不足している中でも、「地域に愛着がある」、「今後も住み続けたい」という意見が多くある。

高齢化が進む東峰村では、平成24年度、地域福祉の課題について住民アンケートを実施した。調査報告書によると「老後や介護に関する悩み」が最も多く、次いで「自分や家族の健康に関する悩み」が挙げられており、高齢・障害があっても地域で暮らせる配慮が求められている。具体的な内容は、「ごみ出し」、「外出」の心配から、「災害時・緊急時の避難」まで多種多様である。また「地域における見守り・近隣の人が訪問して声掛け」、「高齢世帯の人や障害者のある世帯が困っている事を知らせる連絡網の整備」が重要であるという意見が多く、地域住民による結びつきの強化が求められている。これは裏を返せば、人口減少や、高齢化による外出機会の減少に伴い、地域住民間のコミュニケーションが不足し、集落における伝統行事や様々な地域活動が困難になってきている、と考えられる。

3. 施設資源を活用したサービスの提供・地域や他職種との連携・協働

この13年間、私たち宝珠の郷は、地域の中に入り込むことで、高齢者が困ったときに気軽に相談できる環境作りに取り組んできた。

たとえば、70歳以上の一人暮らしの方を対象に行っている「配食サービス」がある。多い時には75名の高齢者を対象に、月1回お昼のお弁当を無料で配食している。このサービスの一番の目的は、安否確認であるが、相談・要請がなくても定期的に出向くことで信頼関係を構築し、高齢者の小さな変化に気付いたり、いざという時にスムーズに対処できると考えている。

配食サービスを継続していく中で、ある高齢者の方が、古紙、段ボール、空き缶を廃品回収に出せなくて困っている事を知り、お弁当を届ける際に、これらを無料で施設へ持ち帰る取り組みを始めた。一人暮らしや高齢者世帯の方々は、生活の中で小さな不自由を感じている場面が多くある。地域に出向いていくことは、地域の中の課題を知り、私たちが出来ることを考える良い機会を与えてくれる。



配食サービスの様子：70歳以上の一人暮らしの方へ、月1回の見守り訪問を実施

また、高齢者の交流の場づくりとして、施設内に設けた地域交流スペースを利用して、要介護認定が自立あるいは要支援の方を対象に、公益事業「ほっとホーム宝珠」を週1回開催している。デイサービス同様、食堂や機能訓練室、浴室も備えたスペースで、利用者10名に対し職員1名が対応し、健康管理、運動、入浴、作業療法を中心に活動している。時には買い物、野球観戦、観劇などの外出活動も企画している。誰もが年を重ねるにつれ外出する機会が少なくなり、閉じこもりがちになってしまうことを心配している。高齢になっても社会参加していくことは大切であり、その機会を提供したいと考えた取り組みである。

このような取り組みは、地域ケア会議(民生委員会・地域高齢者調整会議)への参加と合わせて、地域ネットワークから高齢者を孤立させない活動に繋がっている。例えば、一人暮らしの家庭から出た古紙・空き缶等は、当施設の職員が配食の際に持ち帰ることとし、高齢者夫婦世帯については民生委員が対応するという役割分担を行った。「しばらく留守にするから」と連絡を受ければ、民生委員や保健師にもすぐにその情報を伝え、関係者全員で共有している。地域の中を行き来することで交流・情報の途切れがちな各戸をつなぎ、地域ネットワークを確保する役割を担ってきたと実感している。私たちは、地域の方が安心して住み続けることができるような環境・援助の仕組みを実現していくことが使命であると考えている。

4. 地域とのつながり構築とホームページの活用

集落の世帯数が減少し、祭りなど地域の結びつきが失われつつあるなか、多世代の人と人を結ぶ交流を行い、元気で、生きがいがある地域になることを目指して取り組んでいる活動



地域のゲートボールチームや近隣施設チームとの試合の様子

がある。

開設当初から村のグラウンドを借りて年2回定期開催している施設主催のゲートボール大会は、地元のゲートボールチームを対象に始めた大会であったが、回を重ねるうちに、近隣地域からの参加や、この大会参加のためだけにチームが組まれる民生委員チームや農協職員チームなど広がりができ、今では150名を超える方が参加される大行事となっている。

毎年お盆明けに開催する夏祭りは、村内外から約400名の参加を得て、踊り、大正琴などの各サークルや、近隣高校の吹奏楽部など各種団体が日頃の練習の成果を発表する場としても活用されている。こうした活動は、入所利用者様や職員をはじめ、地域住民に参加していただくことで、開催出来なくなった伝統ある祭りや、様々な地域行事に代わることができるのではないかと考えている。

私たちは、地域との交流や施設を開放することで、老人ホームの旧来のイメージを払拭し、誰もが気軽に立ち寄れる場、安心して相談のできる場に変えることを目指している。地元の保育園児、小学生の生活発表会、中学生の職場体



試合の合間には、施設で用意したおにぎり、ぜんざいを参加者全員で食べます

験、地域の子どもたちとの交流はもちろんのこと、5年前からは都市部の小学校との交流会を行っている。村の研修施設に宿泊しながら、田植えや稲刈り等を体験学習するカリキュラムでは、そのうち半日を当施設での交流にあてている。子どもたちにはお年寄りを大切に作る心やどんなことで困っているかなどを学んでいただき、利用者様は若い人と会話することで「元気と笑顔」をもらっている。

この笑顔と活動をホームページやUSTREAMで配信し、利用者様の笑顔と施設職員の笑顔を多くの人に見ていただくことで、地域の方が安心して住み続けることができる環境作りにつながるとともに、遠方に住まれている家族へ安心を届ける方法にもなっていると考えている。ホームページの中には、当法人の基本理念である「あたたかく、やわらかく、受容の心」から、「施設概要」「身体拘束廃止宣言」「高齢者の交通事故防止宣言」「飲酒運転撲滅宣言」をはじめ、施設の行事・地域との交流・地域の情報など、この山間地域から全国に配信し、宝珠の郷を見て頂くことが、東峰村を見て頂くことにつながり、地域の活性化の一役を担っていけると考えている。

5. 今後の展望及び想い

特別養護老人ホーム宝珠の郷は、生活に不安を抱える方からも気軽に相談して頂けるようになってきた。平成25年度、東峰村では地域福祉の基本理念を「声掛けあう、住み続けられる福祉の村づくり」と設定している。私たちは、福祉施設の強みを生かし、高齢者にとどまらず、障害者や子育て中の保護者なども集い、交流できる地域拠点、また災害時にも対応できる防災拠点、地域住民・行政・各種団体などを結ぶネッ

トワーク拠点を目指している。施設周辺の住む地域の人たちが、「安心して暮らしていける」「子どもたちにも良い経験をさせてくれる」「あの施設があるから大丈夫」など施設を身近に感じてもらえるように、地域との連携活動を続けていきたいと考えている。

身体拘束廃止宣言

私たちの施設は、身体拘束の排除に向けて全館統一となって取り組んでいます。

私たちは、身体拘束ゼロを目指して実践していく施設です。

平成23年4月1日
特別養護老人ホーム 宝珠の郷
施設長 出水清治

高齢者の交通事故防止宣言

私たちは、高齢者が

- 1 安全な歩行や移動ができるように
- 2 車輪を持った運転ができるように
- 3 自ら交通安全意識が高められるように

高齢者に優しい運転や交通安全のための声かけを実践する事業所となることをここに宣言します。

平成23年6月27日
特別養護老人ホーム 宝珠の郷
施設長 出水清治
安全運転管理員 尾花拓也

飲酒運転撲滅宣言

私たちは、

- 1 運転するときはお酒を飲みません
- 2 お酒を飲んだときは運転しません
- 3 運転する目的前は飲酒は控えます
- 4 お酒を飲んだ人には運転させません
- 5 運転する人にはお酒をすすめません
- 6 お酒を飲んだ人には乗降車を提供しません
- 7 お酒を飲んだ人に運転を頼みません、同乗しません

悲惨な交通事故をなくし、安全な交通社会を築くため、飲酒運転を撲滅する事業所となることをここに宣言します。

平成23年6月27日
特別養護老人ホーム 宝珠の郷
施設長 出水清治
安全運転管理員 尾花拓也